

Tcc × SDGs Report 2023



Japan.
Committed
to the SDGs

地方創生 SDGs
官民連携
プラットフォーム



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

目次

◆本レポートについて	2
◆これまでの主な歩み	2
◆トップコミットメント	3
◆SDGsカンファレンスの開催	4
◆SDGs AICHI EXPO 2023への出展	5
◆社内理解促進活動 ・社内SDGsセミナーの開催 ・社内での地方創生カードゲームの開催	6
◆TCC×SDGsパートナーシップ協定10社達成	7
◆他企業、学校との連携 ・DMM Agri Innovation殿と「獣害対策事業に関する業務提携契約書」を締結 ・文吾林造園殿でのSDGs研修会に参加	8
・市邨高等学校殿への環境教育の実施 ・愛知製鋼殿での地方創生カードゲームの開催支援	9
・いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話プロジェクトへの参加 ・でんきの科学館での環境教育の実施	10
◆2023年度SDGsプロジェクト	11
◆2030年に向けたSDGs活動方針 ・2024年度SDGs活動方針	26

本レポートについて

SDGsは持続可能な社会を実現するための世界共通の課題・目標であり、この達成に貢献することが当社自らの持続的な成長に繋がると考えています。

本レポートは、当社の2023年度のSDGsへの取組みを紹介するものであり、本レポートを通じて、SDGsの達成に貢献する方々とのパートナーシップのきっかけになれば幸いです。

これまでの主な歩み

2019	2019年度 6月	SDGs の全社展開スタート
	7月	TCC × SDGs プロジェクト開始
	8月	SDGs アンバサダー就任
	9月	2019年度 SDGs カンファレンス開催
2020	2020年度 6月	2019年度 SDGs 報告書発行
	7月	2020年度 SDGs カンファレンス開催
	10月	地方創生SDGs 官民連携プラットフォーム(内閣府)へ参加
	1月	JAPAN SDGs Action Platform(外務省)へ参加
	2月	TCC × SDGsパートナーシップ協定運用開始
2021	3月	SDGs AICHI EXPO 2020 オンライン開催へ出展
	2021年度 6月	2020年度 SDGs 報告書発行
	6月	SDGs パートナーシップ協定第1号締結
	6月	SDGs de 地方創生公認ファシリテーター2名養成
	8月	2021年度 SDGsカンファレンス開催
2022	10月	SDGs AICHI EXPO 2021へ出展
	2022年度 5月	新たなトップコミットメントを宣言
	5月	2022年度 TCC × SDGs プロジェクト開始
	5月	2021年度 SDGs報告書発行
	7月	2022年度 SDGs カンファレンス開催
2023	10月	SDGs AICHI EXPO 2022へ出展
	2023年度 6月	社内SDGsセミナーの開催
	7月	2023年度第1回 SDGs カンファレンス開催
	9月	社内での地方創生カードゲームの開催
	10月	DMM Agri Innovation殿と「獣害対策事業に関する業務提携契約書」を締結 SDGs AICHI EXPO 2023へ出展
	12月	2023年度第2回 SDGsカンファレンス開催
	1月	TCC × SDGsパートナーシップ協定 10社達成 文吾林造園殿でのSDGs研修会に参加
	2月	市邨高等学校殿への環境教育の実施
	3月	愛知製鋼殿での地方創生カードゲームの開催支援
	4月	いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話プロジェクトへの参加 でんきの科学館での環境教育の実施



Japan.
Committed
to the SDGs



地方創生 SDGs
官民連携
プラットフォーム

トップコミットメント

私たちテクノ中部は、エネルギーと環境にかかわる豊富な経験と確かな技術で、より豊かな社会創りや自然環境の保全を通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

SDGsに賛同します

- ・当社は、中部電力グループの中で唯一事業として環境を謳う企業として、より豊かな社会創りや自然環境の保全に取り組みます。
- ・当社は、SDGsの理念に賛同し、すべての企業活動を通じてこの達成に貢献し、さらなる企業価値の向上を図ります。

エネルギーと環境

- ・当社は、電力は重要な社会インフラであることを自覚し、安全かつ安定的、経済的で環境に配慮したサービスを提供します。
- ・当社は、新しい技術・発想によりゼロエミッション社会、自然共生社会および循環型社会の実現に貢献します。

一人ひとりが活躍できる職場へ

- ・当社は、風通しの良い明るく元気な職場を作るとともに、従業員が誇りを持って働ける職場作りを進めます。
- ・当社は、従業員が安全で心身ともに健康で働ける環境、多様な人財が働きやすい環境を整備します。

すべての皆さまとともに

- ・当社は、お客さまを始め、地域の皆さまからのより一層の信頼が得られるよう、コンプライアンスの推進に取り組みます。
- ・当社は、当社だけでは困難な課題に対しても、積極的にパートナーと連携し、社会の様々な課題解決に取り組みます。

2022年 5月 1日

株式会社 テクノ中部

代表取締役社長 伊出 俊一郎

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



SDGsカンファレンスの開催

6月および12月に、本店6階講堂にてSDGsカンファレンスを行いました。この催しは、SDGs活動の活性化を目的に2019年より毎年開催しています。

第1回は6月27日に開催し、新規6件を含めた計30プロジェクトが発表されました。また、ESD（持続可能な開発のための教育）をテーマに、中部大学国際ESD・SDGsセンター准教授の古澤礼太先生からご講演もいただきました。

第2回は12月12日に開催しました。各プロジェクトの中間報告に加え、当社とSDGsパートナー協定を締結している9社の代表者の方にもご来場いただき、ご講評をいただきました。

いずれの回も社内外から100名を超える方が会場・webから参加し、活気のある催しとなりました。

当社は、引き続きSDGs達成に向けた取組みを積極的に推進するとともに、社外パートナーの皆様との協働による更なる展開を図ってまいります。

第1回（6月27日開催）



伊出SDGs事務総長による開会挨拶



古澤先生による講演

第2回（12月12日開催）



SDGs AICHI EXPO 2023への出展

10月5日から7日の3日間、愛知県国際展示場で「多様な力で実現する持続可能な未来」をテーマに、SDGs AICHI EXPO 2023が開催されました。

当社は「脱炭素経営コンサルティング」、「遺伝子解析」、「浜岡前面海域・豊かな海プロジェクト」、「石綿（アスベスト）の事前調査」、「環境教育」等のパネル展示や、昆虫標本、アワビやカジメの育苗キット、アカミミガメの甲羅やアナグマの骨等を展示してSDGsの達成に向けた取組みを紹介しました。

来訪していただいた方には、当社の出展に対するアンケートと、花の苗（ベゴニア）を配布しました。こちらは、SDGsの理念に共感いただいた中電ウイングの方々から提供していただいたものです。アンケートの回答者には、抽選でパートナー企業である西川コミュニケーションズ様提供のマスキングテープと、Equbo様提供のカカオティーをプレゼントしました。

また、昨年に引き続き、中部電力ミライズ様のカテエネをご紹介するブースを設け、ノベルティ配布を行いました。

当社のブースには、500名の方にお越しいただきました。また、展示内容が優れたブースに投票する来場者参加企画では、100を超えるブースの中で、見事6位にランクインすることもできました。出展期間中は、昨年当社のブースにお越しになった方が声をかけてくださる場面もあり、出展を通して少しずつ認知度が向上していると感じることができました。



当社のブース



アナグマの骨



昆虫標本



カジメ育苗キット、アワビ標本



社内SDGsセミナーの開催

6月19日に、本店6階講堂にて当社社員を対象にしたSDGsセミナーを行いました。主に若手社員へのSDGsの理解促進を目的に行われた本セミナーは、講師をSDGs検定※を取得している当社社員が行い、SDGsの成り立ちや理念について講義を行いました。当日は会場、webを合わせて約百名の方が参加し、熱心に聴講しました。



※一般社団法人 SDGs推進士業協会による

社内での地方創生カードゲームの開催

9月26日に、本店6階講堂にて当社社員を対象に「SDGs de 地方創生カードゲーム」を開催しました。

このゲームは、SDGsに関わる一つのプロジェクトの達成に、世の中はどのように動き、どのように周囲と連携をとっていく必要があるのかを、体感的に把握することができるものです。

参加者は初めはルールがわからず戸惑った様子でしたが、次第に活発な対話が聞こえるようになり、地方創生を通じた持続可能な社会づくりについて理解を深めました。



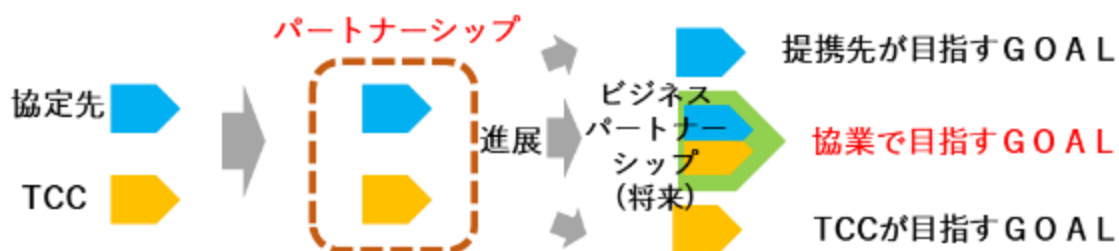
TCC×SDGsパートナーシップ協定10社達成

今年度は新たに4つの企業・大学とSDGsパートナーシップ協定を締結し、当社のSDGsパートナーシップ協定の締結先は10社となりました。今後も引き続き、多様なパートナーとの協定拡大に取り組み、社会課題の解決、SDGs達成に貢献してまいります。

協定締結先（敬称略/締結順）	関連ゴール
文吾林造園株式会社（長野県飯田市）	11 持続可能な都市づくり、15 持続可能な生態系、17 パートナーシップ
株式会社ダイセキ環境ソリューション（愛知県名古屋市）	11 持続可能な都市づくり、14 持続可能な海洋資源、15 持続可能な生態系、17 パートナーシップ
三光株式会社（鳥取県境港市）	4 質の高い教育をみんなに、11 持続可能な都市づくり、12 持続可能な消費のあり方、14 持続可能な海洋資源、15 持続可能な生態系、17 パートナーシップ
五大エージェンシー株式会社（愛知県名古屋市）	6 安全な水とトイレを世界中に、8 豊かさをみんなに実感させる、11 持続可能な都市づくり、15 持続可能な生態系、17 パートナーシップ
株式会社千代田テクノ（東京都文京区）	7 持続可能なエネルギー
西川コミュニケーションズ株式会社（愛知県名古屋市）	3 持続可能な健康と福祉、8 豊かさをみんなに実感させる、11 持続可能な都市づくり、12 持続可能な消費のあり方、13 持続可能な気候変動対策、14 持続可能な海洋資源、15 持続可能な生態系
マリヤ運輸有限会社／Equbo（エクボ）（愛知県小牧市）	1 持続可能な人々の暮らし、2 持続可能なエネルギー、3 持続可能な健康と福祉、4 質の高い教育をみんなに、8 豊かさをみんなに実感させる、10 持続可能な社会の仕組みづくり、11 持続可能な都市づくり、16 持続可能な平和と公正
株式会社農力向上研究所（愛知県名古屋市）	1 持続可能な人々の暮らし、2 持続可能なエネルギー、3 持続可能な健康と福祉、8 豊かさをみんなに実感させる、15 持続可能な生態系
株式会社NEVER（愛知県豊川市）	4 質の高い教育をみんなに、8 豊かさをみんなに実感させる
中部大学 国際ESD・SDGsセンター（愛知県春日井市）	4 質の高い教育をみんなに、7 持続可能なエネルギー、13 持続可能な気候変動対策、14 持続可能な海洋資源、15 持続可能な生態系、17 パートナーシップ

TCC×SDGsパートナーシップ協定とは

SDGsにおいては、官民をはじめ、学校、NGO・NPO、企業等多様なパートナーと連携することが推奨されています。本協定の取組みは、協定先の企業・団体等およびそれらで構成するネットワークにおいて、SDGsの取組みを相互に支援、協力することで、その活動等を発展させていくことをねらっています。



DMM Agri Innovation殿と「獣害対策事業に関する業務提携契約書」を締結

10月4日、株式会社DMM Agri Innovation（東京都港区 以下DMMアグリ）と「獣害対策事業に関する業務提携契約書」を締結しました。DMMアグリは、鳥獣被害対策をメイン事業とし、これを起点とした「農業の未来」、そして地域社会への貢献を目指す企業です。

同社は農業が抱える種々の課題に対し、持続的な解決策を付与すべくジビエの流通促進やブランド向上にも取り組んでいます。当社はこのDMMアグリの実業構想に強く賛同し、これまで環境アセスメントや生物調査業務の中で培ってきたAI画像解析等のノウハウを投入・連携させることで、DMMアグリと共にお客様に対し、獣害対策に関する様々なソリューション提供を行ってまいります。



文吾林造園殿でのSDGs研修会に参加

1月7日に、SDGsパートナーシップ企業である文吾林造園株式会社本店（長野県飯田市）で開催されたSDGs研修会に参加しました。

研修会では、造園業のSDGsへの関わりについて、「地球環境の変化をより身近に感じることができる」、「植林等の事業活動で二酸化炭素の吸収に貢献できる」など、カーボンニュートラルや生物多様性への貢献や新しいビジネスモデルの可能性というテーマで意見交換が行われました。当社からは「SDGsの基礎と最新の動向について」「当社におけるSDGsの取り組みについて」という題材で講演を行わせていただきました。



市邨高等学校殿への環境教育の実施

2月11日に、名古屋経済大学市邨高等学校のエクスプローラコースの生徒のみなさんを対象に、本店6階で「環境DNA」と「屋上ビオトープ」についての環境教育を行いました。

環境DNAの講義では、環境DNAの原理からそのメリットに関する基礎的な内容および、分析の手順や結果の解析上の注意点などについて講義しました。屋上ビオトープの講義では、環境省の「自然共生サイト」に認定された、当社本店屋上ビオトープについて、そのコンセプトや目的、効果について講義しました。



環境DNAの講義



本店屋上ビオトープ

愛知製鋼殿での地方創生カードゲームの開催支援

2月13日に、愛知製鋼株式会社本社（愛知県東海市荒尾町）で、SDGs de 地方創生カードゲームの開催支援を行いました。

このゲームは、架空の「まち」の発展を目指すことにより、持続可能な社会における繋がりや対話の重要性を体感的に学習することができるものです。

愛知製鋼殿からは20名の方が参加し、積極的な対話活動が行われました。参加された皆さんからは、「面白かった」「SDGsへの関心や意識の向上に役立つと思う」等のご意見が寄せられました。



いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話プロジェクトへの参加

3月2日、大阪市中心公会堂にて『いのちをつなぐ水と流域 地球市民対話プロジェクト』が開催されました。このイベントは、当社とSDGsパートナーシップ協定を締結している中部大学が主催したものです。

水をテーマにした今回の催しでは、大学、NPO、一般企業など40余りの団体が参加しました。会場では活発な意見交換が行われ、産学交流の場としても貴重な機会となりました。また、水に係る種々の課題の解決に向けた取り組みを発表する場もあり、当社からは当社のSDGsの取り組みについて発表を行いました。



でんきの科学館での環境教育の実施

3月16日に、次世代教育に関する中部電力とのコラボイベントとしての環境教育をでんきの科学館（愛知県名古屋市）において開催しました。当日は「生き物たちの骨を知ろう」をテーマとしたワークショップを3回開催し、子どもから大人まで累計101名の方に参加していただきました。

ワークショップでは、参加者とともに身体を動かしたり、模型を用いたりして骨の形と体の動きとの関係性について講義するとともに、中部電力が発行する「ちゅうでん壁新聞」のイラストを用いて体を支える、内蔵を守る、体を動かすなど骨の重要な役割について説明しました。



2023年度 SDGsプロジェクト

No.	プロジェクト名	関連ゴール
1	風車の守人	7
2	安全・品質・かいぜんキャラバン	7 8
NEW 3	good Drive	3
4	取引先とのパートナーシップでSDGs達成の推進!!	3 11 12 17
5	カーボンニュートラルプロジェクト	7 9 11 12 13 17
NEW 6	資材契約によるコストダウン	8
NEW 7	経費精算システム「楽楽精算」の導入	8 9 12 15
NEW 8	請求書発行システム「楽楽明細」の導入	8 9 12 15
NEW 9	モッコウバラの栽培	11 15
10	Public relations (Tcc2023)	4 8 17
NEW 11	SustainaDX	4 8 9
12	TDP ～テクノ・ダイバーシティ推進・プロジェクト～	4 5 8 17
13	灰カツ	9 11 12
14	ENERGY (電力・ガス) の安定供給に貢献	7
NEW 15	海上輸送の低炭素化に挑戦	7 9 11 12 13 14 15
16	碧南事業所 品質不適合無(なし)の継続によりお客さま信頼度のさらなる向上を図ろう	7 9
17	「定時の文化」の定着プロジェクト	5 8
18	屋上ビオトープ管理運営	4 15 17
19	海ぶどう	2 7 8 9 13 14
20	環境・海事の技術で洋上風力を実現	7 8 9 11 12 13 14 15 17
21	ドローン活用プロジェクト	7 9 11 15 17
22	プロジェクトYAGI 2023	2 4 8 9 11 12 13 15 17
23	エコマークとるぜ!	9 11 12 13 14 15 17
24	プロジェクトGENE	3 4 9 14 15
25	クロダイ食害対策プロジェクト	9 14 17
26	アスベスト調査ならお任せ下さい!	3 11 12 16 17
27	PCB機器の適正処分	3 11 12 17
28	唯一無二の原子力防災体制を構築	7 11 17
29	浜岡前面海域・豊かな海 藻場と磯根資源の回復を目指して	12 14
30	浜岡原子力発電所で発生する放射性廃棄物の削減に取り組み、クリーンなエネルギーである原子力発電の再稼働に貢献しよう!	4 7 9 11 12 13 17

Project No.1

風車の守人



【活動実績】



風車設備



風車受変電設備の操作

Project No.2

安全・品質・かいぜんキャラバン



【活動実績】

- 社内全部署を訪問 (20部署 ; 2023.6~9月)
 - ① 意見交換やインタビューによる良好事例や困りごとの把握
- 安全・品質
 - ① リスクアセスメントの実施実態と課題の把握
 - ② 良好事例の確認(ヘルメット遮熱材等)と全社への情報共有
- かいぜん
 - ① 業務マップを用いたかいぜん活動の進捗確認
 - ② かいぜん活動に対する疑問や困りごとの把握



各部署との意見交換

Project No.3

good Drive



【活動実績】

安全運転のための10のルールの実践

(徹底して守る10のルールとコメントリーの実施例)

項目	実施内容	解説	コメントリー実施例
【乗車前】	①車両と周囲の確認	車両の状態（車等）の確認を含む	「周囲よし」
【発進前】	②各種表示灯の確認と調整	調整はルームミラー、ドアミラーおよびシート	「調整よし」
【発進時】	③右後方の目視確認と右ウィンカーの指示	発進時の基本動作	「右後方よし」
【走行中】	④車間距離	追突された時に多量事故にならないように	「車間距離注意」
	⑤横断歩道手前で一時停止または徐行	歩行者保護	「歩行者注意」
	⑥右・左折、車線変更時の確認と適切な合図	他車に迷惑をかけない・30m手前で合図	「対向車注意」「巻き込み注意」
	⑦交差点	進入時の確認	「信号注意」「歩行者注意」
【停車中】	⑧後方確認	追突を想定した姿勢	「車間距離注意」「後方注意」
【後退時】	⑨後方の目視確認、同乗者による誘導	後方の状況確認	「後方注意」「周囲よし」
【駐車時】	⑩隣の車との車間距離	他車に迷惑をかけない	「周囲よし」

※全段 コメントリー運転の実施

○上記内容を周知

○コメントリーについては毎月重点事項として周知

○同乗指導者（本店）に対して「安全運転の基本」を教育した

12月1日～18日（計4日）

受講者：39名



Project No.4

取引先とのパートナーシップでSDGs達成の推進!!



活動実績

～【大手通信事業会社様や大手鉄道会社様はじめ多数のPCB分析、廃棄物処分支援を実施しました。】～



【PCB分析・試料採取 実績例】



【PCB廃棄物の処分支援業務 搬出実績例】

Project No.5

カーボンニュートラルプロジェクト



【活動実績】

● 商材拡充検討チーム「製造業向け脱炭素コンサル」の活動

- ・ キックオフ（7月）
- ・ サプライチェーン排出量算出勉強会（8月）
- ・ 省エネ診断勉強会（10月）
- ・ 製造業様省エネ診断現地調査（10月）
- ・ 製造業様省エネ試算・報告会（12月）

● SDGs AICHI EXPO 2023にて「脱炭素コンサルティング」の展示 (2023年10月5日～7日)



Project No.7

Project No.8

経費精算システム「楽楽精算」の導入

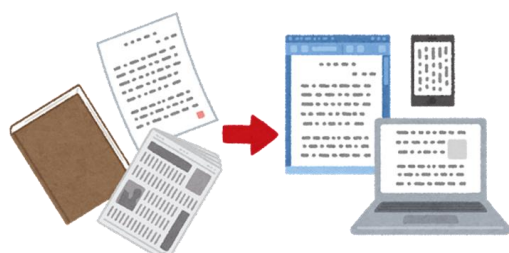
請求書発行システム「楽楽明細」の導入



【活動実績】

経費精算システム「楽楽精算」の導入

- ・ 押印レス、ペーパーレス化による 紙保管の最小化
- ・ 経費精算の電子化による テレワークの推進
ファイリング作業の削減
- ・ OCR機能による チェック時間の削減



請求書発行システム「楽楽明細」の導入

- ・ 経費精算の電子化による 売上会計伝票の廃止
押印請求業務の廃止
ファイリング作業の削減
- ・ システムによる請求書の 受領確認の効率化

Project No.9

モッコウバラの栽培



【活動実績】



4月下旬～5月上旬にかけて
綺麗な花が咲きます！



Project No.10

Public relations (Tcc2023)



【活動実績】

【HPプチリニューアル】



△環境教育ページ作成



△事例・実績紹介ページ作成

【社内報プチリニューアル】



△社内報誌面のデザイン化



業種別サービスページ作成▷

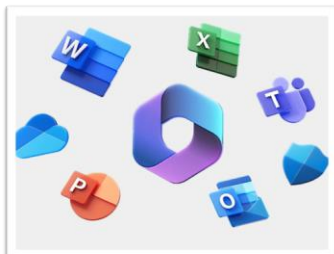
Project No.11

SustainaDX



【活動実績】

M365の導入



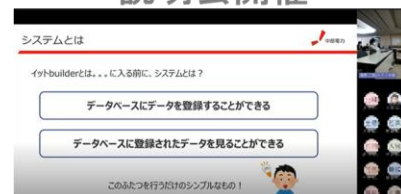
トピックスの掲示



ICT活用情報

議題	内容
★ IoTユースケース100選	サテ
★ 生成AI入門書	・く
★ 熱中症対策・予兆検知	安さ
★ GPSマルチユニット	1台
★ 現場DXを実現する自動化・省力化...	「現
★ AIやクラウドを採り入れた「通信型...	・A
★ IoTセンサーを活用した現場のデー...	株主
★ 見込み客への営業活動に関するアン...	両立

イットbuilderの 説明会開催



Project No.12

TDP ～テクノ・ダイバーシティ推進・プロジェクト～



活動実績

～ダイバーシティを推進し、企業の発展や活性化を目指す～

【女性活躍・障がい雇用推進の取り組み】

- 障がい者就職面接会への参加
- 女性活躍推進に向けた意見交換会実施
- 中電Gワークスタイルセミナー開催

【女性の育児休職取得率100%】

2023年度女性の育児休職4名取得

【男性イクメン休暇取得率100%】

2023年度イクメン休暇対象者5名のイクメン休暇取得

Project No.13

灰カツ



【活動実績】



フライアッシュを採用することで
環境配慮型生コンクリートをPR



CO₂排出量（参考データ）

材料	CO ₂ 排出量(kg/t)
セメント	757.9
高炉スラグ	24.1
フライアッシュ	17.9

セメント置換でCO₂(740kg/t) 削減



2023年度実績
CO₂排出量 560万kg削減
(前年比135%)

Project No.14

ENERGY（電力・ガス）の安定供給に貢献



【活動実績】

- ・2023年度受入実績 A社 28隻（対前年▲5隻）
B社 18隻（対前年+1隻）
- ・2023年度 同日離着桟および分散受入の実績なし
- ・荒天による最大遅延日数：6日



当社所有4,000馬力級
タグボート「かすが丸」



当社所有4,000馬力級
タグボート「やちほ丸」

LNG船やLPG船に対する離着桟サポート、長周期波による本船の船体動揺低減や港湾内のセキュリティ確保のためのエスコート業務を行うタグボート（港内に5隻配備）の運用方法について課題を整理。次年度に向け検討を進める。



	基地	1日目	2日目	3日目	4日目
①同日離着桟	A社				過去2回実績あり
	B社				
②分散受入 港内シフトによる バーチャル受入の場合	A社				実績なし (対応可能)
	B社				
③同日受入	A社				実績なし (現状対応不可)
	B社				

Project No.15

海上輸送の低炭素化に挑戦



【活動実績】



液化バイオメタン供給状況

媒体名・（掲載方法）	掲載日
物流ニュース Lnews・（WEB）	2023年 6月21日
時事ドットコム・（WEB）	2023年 6月21日
LOGISTICS TODAY・（WEB）	2023年 6月21日
電気新聞・（紙面）	2023年 6月22日
海事プレス ONLINE・（WEB）	2023年 6月22日
日本海事新聞・（紙面）	2023年 6月22日
月刊「事業構想」オンライン・（WEB）	2023年 6月22日
環境ビジネス・（WEB）	2023年 6月23日
内航海運新聞・（紙面）	2023年 7月 3日
日経産業新聞・（WEB）	2023年 7月 5日
内航ジャーナル メールニュース・（WEB）	2023年11月10日

実証試験に関する記事掲載媒体

Project No.16

碧南事業所 品質不適合無（なし）の継続により
お客さま信頼度のさらなる向上を図ろう



【活動実績】



◆碧南事業所員一丸となって
品質不適合なしを継続する！

安全・品質パトロール

燃料運営課
(コンベヤ巡視業務)



環境運営課
(アンモニアセンター漏洩訓練)



環境管理課
(石炭灰サンプリング業務)



海務課
(揚炭機巡視業務)



Project No.17

「定時の文化」の定着プロジェクト



【活動実績】

◇時間外労働削減実績（2023年度末）

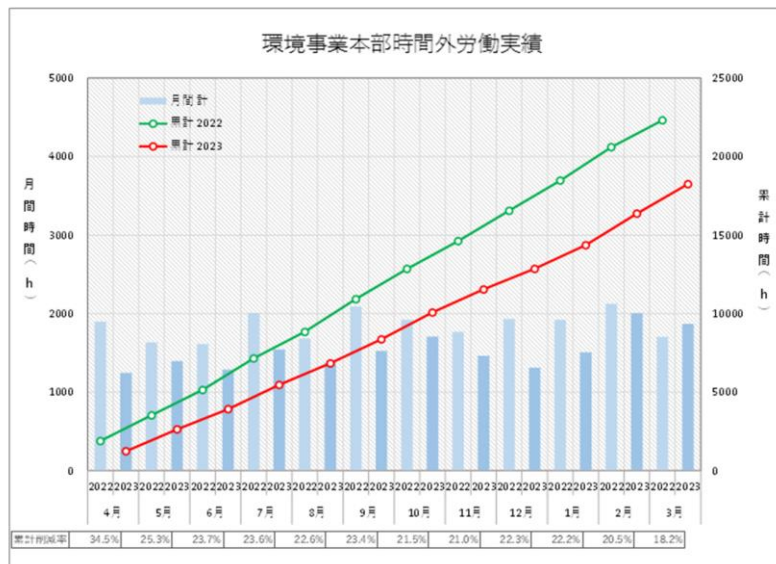
目標：前年度比 20%削減相当

実績：前年度比 18.2%削減
4,066時間削減

◇2023年度の時間外労働時間

長期目標：平時において概ねゼロ水準

実績：18,248時間 / 年
1,520時間 / 月（平均）



Project No.18

屋上ビオトープ管理運営



【活動実績】

屋上ビオトープ管理作業



改善事項の取組み・自然共生サイトとして情報発信

環境省の「自然共生サイト」に認定



なごや環境大学生物多様性シンポジウムでの発表

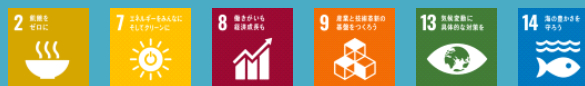


ウシモツゴの保全に向けた準備



Project No.19

海ぶどう



【活動実績】



Project No.20

環境・海事の技術で洋上風力を実現



【活動実績】

【実務】カーボンニュートラルの達成に向け、環境に配慮した風車配置の提案、アセス手続の助勢を継続

新規洋上風力事業の
アセス図書の作成



【騒音・超低周波音調査】

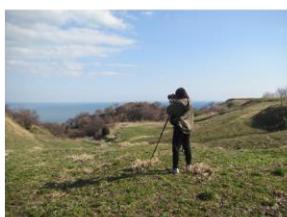


現地調査業務

【鳥類調査】
レーダーシステムによる
飛翔軌跡の観測



【景観調査】



【営業】新たな洋上風力事業者との
コネクション構築
(未受託事業者への営業展開)

項目	事業者数
訪問営業	3 社
見積提案	4 社
展示会等での名刺交換	4 社

【海棲哺乳類調査】

【受動的音響探知機】



【水中マイクロホン】



Project No.21

ドローン活用プロジェクト



2023年度活動内容

- ◆ 貯炭場空撮（冠水状況、貯炭山流炭状況確認）
- ◆ オオヨシキリの営巣地調査の実証実験の実施
- ◆ 中部精機株式会社とドローン業務に関する業務協力基本契約の締結
- ◆ 中部電力グループ会社全体におけるドローン利活用検討会の参加

2023年活動による評価

- ◆ 中部電力グループ会社全体におけるドローン利活用委員会

⇒中部電力グループでドローン機材・技術の集約化

上記に伴い

火力部では、既存業務の継続のため、機材所有・パイロット育成は継続

環境技術センターでは、ドローンを使用した調査の解析に特化し、新規機材の所有の中止・パイロットの育成の中止

Project No.22

プロジェクトYAGI 2023



【活動実績】

ヤギ除草を活用した環境・SDGs学習in東浦自然環境学習の森

ヤギ除草の実施（9月7日～10月30日）



はたらくヤギさん



環境学習イベントの実施（2023年度は雨天中止）



ヤギ除草に興味津々



ヤギの搬出

Project No.23

エコマークとるぜ！



活動実績

Plastics Smart

事例申請フォーム

入力 確認 完了

主体* ※は必須項目です。

団体名* ※任意のフリガナ

団体名ふりがな ※ふりがなを記入してください

(英語版) 団体名

業種* 企業を業種の方のみ業種についてお選びください。

タイトル* 40文字以内でお願ひ致します。

(英語版) タイトル* 英語版を入力する際は、*印がついた全ての欄が記入必須となります。

取組内容* 500文字以内でお願ひ致します。

(英語版) 取組内容*

申請フォームに記載
する内容を検討

Project No.24

プロジェクトGENE



活動実績

～科学の力で豊かな社会を～

環境DNA分析

国天然記念物 ネコギギの生息調査



水産物の品質証明

アサクサノリの純度分析



遺伝子解析（種同定）

未確認生物の解析（TV放映）



特定外来生物の被害調査

樹木の害虫クビアカツヤカミキリの調査（新聞掲載）



教育分野への展開

環境DNAをテーマとした環境教育の実施



Project No.25

クロダイ食害対策プロジェクト



活動実績

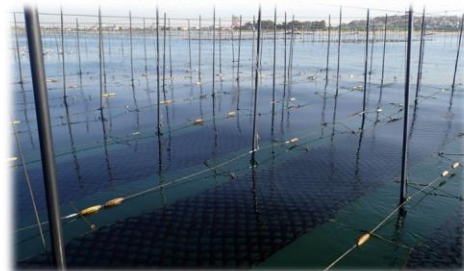
～クロダイによるノリ等の食害防止技術の開発～



超音波発信機を装着



ノリ養殖現場の食害 実態調査



食害防除網の改良試験



水中カメラ試験

Project No.26

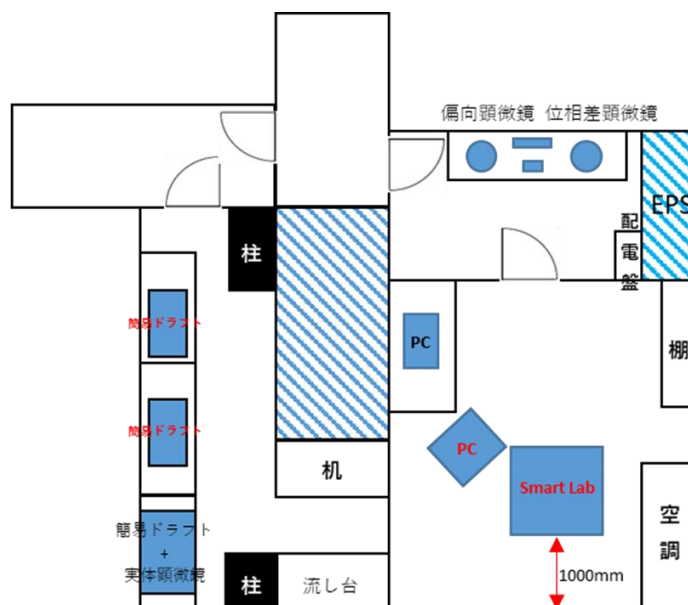
アスベスト調査ならお任せ下さい！



【活動実績】



分析技術者合格証



赤字文字：新規購入予定

北館1階石綿分析室配置図

Project No.27

PCB機器の適正処分



【活動実績】



試料の前処理作業



前処理試料を分析する
GC-MS



PCB廃棄物処分支援
(搬出状況)

Project No.28

唯一無二の原子力防災体制を構築



【活動実績】

静岡県防災資機材点検



昨年に引き続き「静岡県が整備した原子力防災資機材の管理」を千代田テクノル殿とテクノ中部で実施した。

回数を追うごとに着実に自治体と良好な関係を築き上げている。

〈配備場所〉 御前崎オフサイトセンター、菊川市役所など
計 7ヶ所

〈実施期間〉 2023.9～ 2024.2

〈資機材数〉 各場所 65種類

静岡県原子力防災訓練参加

毎年、2月頃、静岡県が計画している防災訓練に、千代田テクノル殿は車両検査装置の設置補助、テクノ中部は中部電力訓練参加者への防災教育の支援を行う予定であったが、24年1月に発生した能登地震の影響により、本年度は開催中止になった。

※写真は23年2月の訓練風景



訓練参加住民への教育の検討

静岡県が主催する原子力防災訓練に参加する住民に原子力防災への理解を深めていただくことを目的とする新たな教育の実施を静岡県へ提案するため、千代田テクノル殿と実施した。

〈日 時〉 2024年3月13日(水) 15:00～16:30

〈参加者〉 千代田テクノル殿

小菅浜岡事業所長、森本営業課長、橋本担当
テクノ中部 青山

Project No.29

浜岡前面海域・豊かな海

藻場と磯根資源の回復を目指して



【活動実績】

食害防止網の構造改善によるカジメ保護の継続



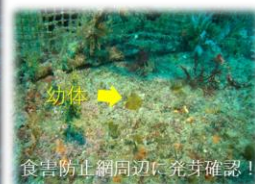
構造改善！
小型食害防止網を作成

小型のカジメも積極的に保護

食害によりボロボロ



保護により綺麗に回復！

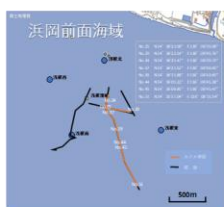


幼体
食害防止網周辺に発芽確認！

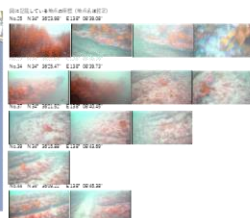
広域藻場に対する水中ドローンの有効性確認



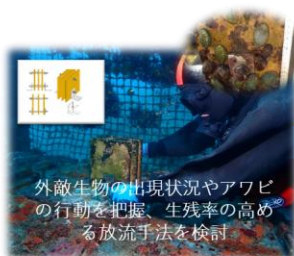
種の判別や被度の算出も可能



浅根・藻礁設置地点から南東方向に
多くのカジメが残存していた。



放流アワビ生残状況の継続確認と放流手法の検討



外敵生物の出現状況やアワビの
行動を把握、生残率の高める
放流手法を検討



放流より数か月後でも
数百個体のアワビを確認

2022年:10個体
→2023年:数百個体以上

Project No.30

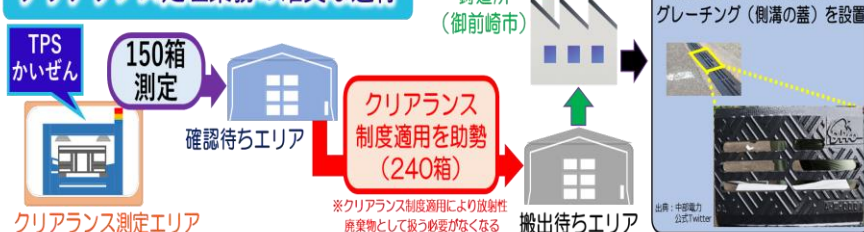
浜岡原子力発電所で発生する放射性廃棄物の削減に取り組み、
クリーンなエネルギーである原子力発電の再稼働に貢献しよう！



【活動実績】

～業務の確実な遂行による放射性廃棄物の削減に貢献～

クリアランス処理業務の確実な遂行



廃棄体の製作・検査・管理業務の確実な遂行



電気事業連合会のホームページにおいても「原子力発電所でのリサイクルの取り組み」として、当社のクリアランス測定の様子が動画 (YouTube) 配信されました



出典：電気事業連合会 公式YouTube

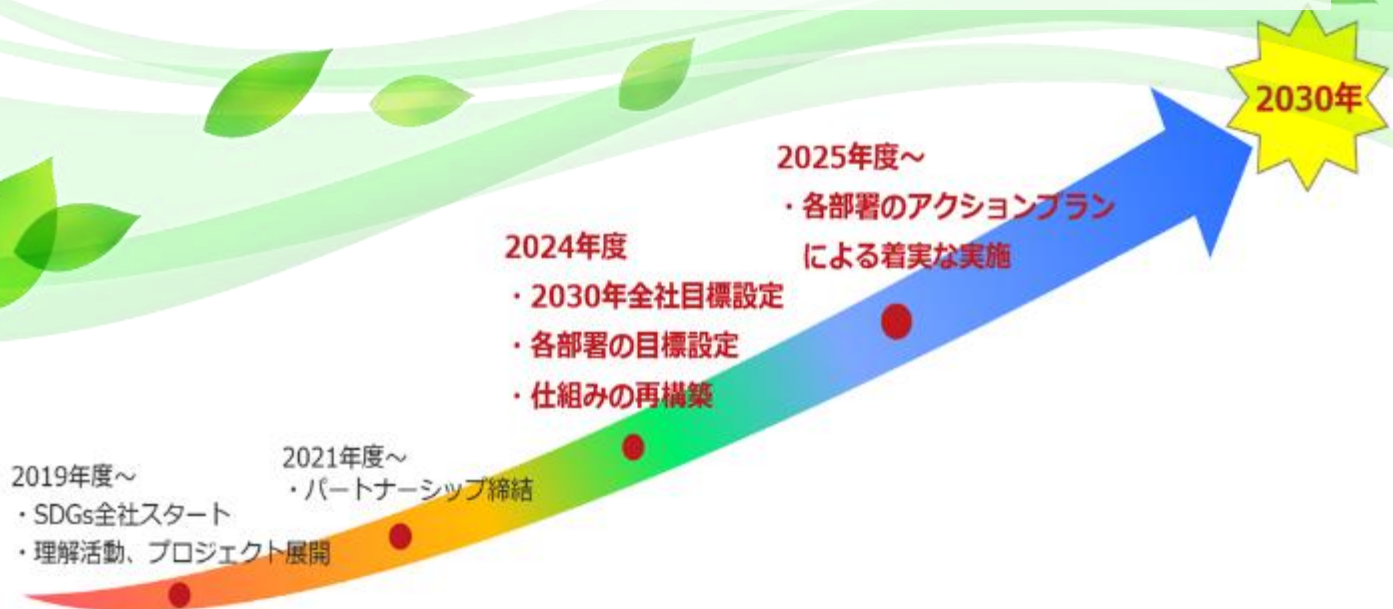
2030年に向けたSDGs活動方針

当社では、これまでさまざまな活動を通じてSDGsに取り組んで参りましたが、全社的に意識が定着してきたことから、今後は本業の中に取り込んで進める段階に移行します。

すなわち、2030年に向けた全社および各部署の目標を設定し、本業を通じてのSDGsの達成を目指します。

エネルギーや環境事業、さらには働き方改革の展開など、具体的な目標を設定し、アクションプランにより進捗を確認しながら、2030年の目標に向けて着実に前進します。

2025年度の再構築に向けて、2024年度はそのための移行期間とします。



2024年度SDGs活動方針

2025年度の再構築に向けて、2024年度はそのための移行期間とし、現体制での活動の最終年度としてこれまでの活動の総仕上げを行います。



株式会社テクノ中部

〒455-8512 愛知県名古屋市港区大江町3番12
TEL : 052-614-7171 (代表)



弊社ホームページ



地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています